

オンライン活動を進める取り組み

8月26日から通常通りの2学期をスタートさせる予定でしたが、8月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が発出されたことを考慮し、四條畷市教育委員会は市内小中学校の授業について、8月26日～9月10日を午前授業としました。午後の時間帯は遠隔授業、遠隔学習の定着期間とし、今後の学習をスムーズに進める準備を行いました。

1 オンライン全校集会

学校の環境整備が進むなか、感染予防の観点からもオンライン会議システムを使っての学校間での会議や全校集会を行う機会が多くなってきました。

8月26日の始業式は、体育館で全校児童生徒が集まったの集会ではなく、オンラインで集会を行いました。子どもたちは教室の大型モニターから流れる校長先生の話や、児童委員会からの呼びかけに耳を傾けていました。



全校集会の画面を見つめる児童(田原小)



全校児童へ話

しかける上井校

長(田原小、

ほうそうしつ
放送室にて)

2 夏季休業中の市教育委員会と学校の取り組み

市教育委員会は2学期以降の学習が円滑に進むよう、全児童生徒のタブレットPCにフィルタリングソフトを入れる作業を行いました。また、各学校では教員がオンライン学習に必要なタブレットPCのさまざまな設定や、タブレットPCを活用した授業方法の研修を行いました。



2 えんかくじゅぎょう えんかくがくしゅう ていちゃく む 遠隔授業、遠隔学習の定着に向けて

たわらしょうがっこう たんしゅくきかんちゅう じどう かにい
田原小学校では短縮期間中、児童が家庭に
たぶれっと も かね えんかくがくしゅう れんしゅう
タブレットPC を持ち帰り、遠隔学習の練習を
おこな
行いました。

かいし じこく になると、くらす じどう がめんじょう
開始の時刻になると、クラスの児童が画面上
あらわ せんせい こえか つぎつぎ おうとう
に現れ、先生の声掛けに次々に応答しました。

きょういん じどう たぶれっと そうさ がめん
教員も児童も、タブレットPC の操作や画面を
とお と な おお
通してのやり取りなど慣れないことが多いです
が、これからすこ かい かせ がっこう た
が、これから少しずつ回を重ねていき、学校でタ
ぶれっと そうさ れんしゅう かにい
ブレットPC の操作を練習しながら、家庭での
おんらいんがくしゅう すむーず にできるようすす
オンライン学習がスムーズにできるよう進めていま
す。



きょう よてい しめ じどう
「今日の予定」を1つずつ示しながら、児童
がくしゅうよてい かくにん せんせい
と学習予定を確認する先生。

がくしゅうよてい し ことば おんせい
学習予定を知らせることや、言葉(音声)
どうさ しかく あ じどう りかい
と動作(視覚)を合わせるなど、児童が理解し
やすい工夫がありました。



えんかくじゅぎょう おこな ようす
遠隔授業を行っている様子。

その日の内容は道徳と社会。画面越しに児童
はな せんせい くだん か
へ話しかける先生は普段と変わりませんでした。



しょうがく ねんせい たぶれっと どうにゅうじ ようす
小学1年生のタブレットPC導入時の様子。

まずは立ち上げ、パスワード入力、ログインす
るところから身につけています。